

25 ヨ ッ ト

大会名称 第50回宮崎県高等学校総合体育大会ヨット競技大会
共同主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会・宮崎県セーリング連盟
後援 公益財団法人 宮崎県スポーツ協会
主管 宮崎県高等学校体育連盟ヨット競技専門部

1 期 日

- (1) 競技別開会式 日 時 令和5年5月27日(土) 9時00分
会 場 日南市大堂津ヨット競技場(ヨット艇庫)
- (2) 競 技 日 時 令和5年5月27日(土)～5月29日(月)
会 場 日南市大堂津ヨット競技場

大 会 日 程

| | |
|--------------|---|
| 5月26日 (金) | 13:00～16:00 計測(ヨット艇庫) 16:00 監督・主将会議 |
| 5月27日 (土) | 9:00 開会式 11:00 第1レーススタート予告信号予定時刻 引き続き 2レースを予定する 全3レース |
| 5月28日 (日) | 10:00 最初のレースのスタート予告信号予定時刻 引き続き 2レースを予定する 全3レース |
| 5月29日 (月) | 9:00 最初のレースのスタート予告信号予定時刻 全1レース 15:00 閉会式(ヨット艇庫) |

※ 天候その他の事情により、時刻を変更することがある。

※ 原則的にスタートは男女420級・男女レーザーラジアル級・男女FJ級の順で行う。

なお、レースの進行上、レース委員会はスタート順を変更する場合がある。

- (3) 閉会式 日 時 令和5年5月29日(月) 15時00分
会 場 日南市大堂津ヨット競技場(ヨット艇庫)

(4) 諸会議

| 会 議 名 | 日 時 | 会 場 |
|---------|-----------------|-------|
| 監督・主将会議 | 5月26日(金) 16時00分 | ヨット艇庫 |

2 競技規則

- (1) 本大会には「国際セーリング競技規則」(以下「RRS」という)に定義された「規則」を適用する。
- (2) RRS付則T(調停)が適用される。規則T1に基づき「レース後ペナルティ」を履行した艇は、「PRP」の得点記録の略語を用いて記録される。これは規則A11を変更している。
- (3) 艇は自らの安全のために、マストトップに浮力体を付ける事が出来る。これは国際420級クラ

ス規則C5を変更し、国際レーザークラス規則25を適用する。

3 競技方法

- (1) ソロ競技は、1艇4名以内（レーザージャリアル級は1名）の選手登録とし、1チームを構成する。チーム内での各レースのスキッパー、クルーの分担は任意である。なお、選手登録の変更は、原則として認めない。
- (2) 競技種目は男女とも420級、FJ級、レーザージャリアル級とし、男女別に順位を決定する。
- (3) レースは各7レースを行う。ただし、各種目でレースが1回以上成立すれば該当する種目は有効である。
- (4) ソロ競技の得点は、RRS付則A4（低得点方式）を適用する。ただし、成立したレースが4回以下の場合には、すべてのレースにおけるその艇の合計得点とする。5回以上の場合には、その艇の最も悪い得点を除外した得点の合計とする。
- (5) 学校対抗の得点は、構成する3艇（420級・FJ級・レーザージャリアル級の各上位1艇）のソロ競技における得点の合計とし、順位は合計点の少ない学校を上位とする。参加していない種目の得点は「参加していない種目でのDNCの得点×完了レース数（5レース以上完了の場合は-1）」とする。ただし、同点の場合には、RRS付則A8（シリーズでのタイ）を適用する。それでも同点の場合には同順位とする。
- (6) RRS42（推進方法）の違反に対して、RRS付則Pを適用する。
- (7) 使用する艇は、自艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇とし、FJ級においては、日本FJ協会公認標準艇でなければならない。
- (8) セール番号は、参加申込時に登録し、変更は監督・主将会議の際に申し出ること。それ以降の変更は認めない。
- (9) 帆走指示書は受付時に配布される。

4 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。なお、職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・常勤講師等とする。監督・コーチ等は、学校が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

5 参加資格

- (1) 選手は宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 年齢は平成16年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チーム編成において、全日制課程と定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加は認める。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により宮崎県高体連会長の認可があればこの限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 選手は令和5年度日本セーリング連盟メンバー登録を完了している者。
- (8) 参加資格の特例

上記(1)に定める生徒以外の参加については、宮崎県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。

6 参加制限

- (1) 参加者は各校とも各種目男女6チーム以内とする。引率責任者が付き添わないチームの出場は認めない。
- (2) 艇ごとに選手登録を行い、複数の艇に同一選手の登録はできない。

7 計測料

1艇 1,000円 セール1組 1,000円

8 表彰

各種目第3位までを表彰する。

9 参加申込

所定の申込用紙により3部作成し、2部を下記宛に送付すること。

申込先 〒880-0856 宮崎市日の出町1番地 宮崎県立宮崎海洋高等学校内

汐口 貴広 宛 TEL 0985-22-4115

FAX 0985-31-8801

申込締切 令和5年4月27日(木) 必着のこと。締切後は受け付けない。

10 参加料

- (1) 1人400円とする。
- (2) 徴収方法は、各学校の指示に従うこと。参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。

11 資格取得

九州大会への出場資格は以下の通りとする。

420級ソロ 4位まで

レーザーラジアル級 6位まで

ただし、上記に伴う各校からの出場制限は以下の通りとする。

420級ソロ 2艇まで

レーザーラジアル級 3艇まで

同一校で出場制限以上の出場資格を得た場合には、その艇を除外し、繰り上げられた艇が出場資格を得る。

12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害等の応急処置は主管側で行うが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること。
- (2) 参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 個人用浮具(ライフジャケット)は、ISO12402-5、レベル50または同等の基準に従うものとし、全種目着用しなければならない。
- (4) レーザーラジアル級においては、国際レーザークラス規則25を適用し、直径6mm、長さ5m以上のパウラインを搭載しなければならない。

※高体連大会で取り扱う個人情報については、要項記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。